



国際交流カフェ「つながるお茶会」

7月18日、町国際交流員主催の国際交流カフェ「つながるお茶会」が開催されました。

このイベントは、地域住民と町内で働く外国人との交流を目的に行われたもので、当日は、町内企業で働く外国人13名と地域住民12名が参加しました。

参加者は、ベトナムコーヒー作りやグループで協力してオリジナルドリンクを考案する企画などを通して、言葉や文化の垣根を超えた温かい交流のひとときを楽しみました。

第2回肝付町子どもサミットを開催

8月20日、第2回肝付町子どもサミットが町文化センターで開催され、町内の小・中・義務教育学校10校の代表者が登壇し発表しました。

波野中2年の立迫 彩美さんが議長としてサミットをスムーズに進行させる中、「タブレット学習で机に置く教材が多くなっているので、机を大きくする拡大パーツを購入してほしい」「学校内に冷水機を増やしてほしい」など代表者は説得力のある理由とともに自分の意見を堂々と提案していました。

サミットを通して子どもたちは、主権者意識を向上させ、地域愛を深められる貴重な機会となりました。



文化センターからのお知らせ

こうやま・川の少年団



8月11日、国土交通省大隅河川国道事務所と肝付町社会福祉協議会のご協力により、第4回活動として「防災炊き出し訓練＆水質調査」を実施しました。

防災炊き出し訓練では、耐熱性ポリ袋にお米と水を入れて湯煎する調理法を学びました。水質調査では採水した水をパックテストで調べ、川にすむ生き物を指標として水質を評価し、「きれいな川」と判定できました。鹿児島島の伝統遊び「なんこ」体験では、塚崎のクスで作ったなんこ玉を使用しました。初めての「なんこ」体験に、親子で楽しく盛り上がりしました。

肝付町子ども会イン・リーダー研修 in 南薩

肝付町子ども会育成連絡協議会では、毎年夏休みの期間に「肝付町子ども会イン・リーダー研修」を実施しています。

今年は、8月5～6日の日程で県立南薩青少年自然の家で実施し、町内の小学5年生から中学2年生までの計15名が参加しました。

知覧武家屋敷庭園群見学やお茶揉み体験、万世特攻平和祈念館の見学等を行い、最初は緊張していた子どもたちも南薩の歴史や文化に触れ様々な体験活動を通して次第に仲良くなり、みんなで協力しながら活動することができました。



肝付町商工業経営安定伴走支援助成金交付式

8月31日、町コミュニティセンターで「肝付町商工業経営安定伴走支援助成金」の交付式が行われ、町内の3事業者に助成金が交付されました。

この助成金は、本町の将来の商工業を担う新規創業者や事業継承者の経営安定に向けた支援を行い、地域経済を支える担い手を応援するために、今年度新設されたものです。

式に出席した事業者の皆さんは、今後の事業展開に向け意気込みを新たにしていました。地域に根ざした新たな挑戦と、町内産業のさらなる活性化が期待されます。

国土交通行政功労事務所長表彰に
山佐産業・二宮鉄工・肝付町消防団東部分団

令和8年度国土交通行政功労事務所長表彰において、優良施工業者（工事部門）として、山佐産業株式会社と株式会社二宮鉄工が表彰されました。ともに町内業者で、道路、河川工事全般における優良工事を評価されてのものです。9月14日の表敬訪問では、日々技術の研鑽に努める姿勢が垣間見え、今後も活躍が期待されます。

また、行政部門からは肝付町消防団東部分団が長年にわたる水門等の操作における功労者として感謝状が授与されました。日々、地域のためにご尽力いただきありがとうございます。



高山中学校同窓会 母校へ優勝旗を寄贈

9月4日、高山中学校同窓会が母校へ体育祭で使用する優勝旗を寄贈しました。高山中学校は、今年で創立80周年を迎え、卒業生は1万4千人を超えます。

高山中学校同窓会の竹之下会長は、「目標を持って日々チャレンジする充実した学校生活を送ってほしい」と後輩たちにエールを送りました。

今回寄贈された優勝旗は、9月12日の第80回記念高山中学校体育祭で使用され、生徒たちは優勝旗の獲得を目指して熱い戦いを繰り上げていました。



宝くじ助成金で地域コミュニティ活動の充実を 和田振興会



宝くじの社会貢献広報事業費を財源として一般財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業により、和田振興会がエアコン、照明器具と蓄電池、草刈機を整備しました。

これにより、今後一層の地域コミュニティ活動の充実が期待されます。

